

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 23 26	「その人らしい暮らし」が、コロナ禍で面会制限等があり、ご家族のご意向を聞く機会があまり持てず、ケアに反映することが十分に出来ていなかった。	「その人らしい暮らし」の再確認をし、個別支援に取り組み、その人らしい暮らしを支え、その人が出来ることが維持できるようにする。	・センター方式を活用し、過去の暮らしやご本人、ご家族のご意向の再確認をおこなう。 ・再確認した上で、その人らしい充実した暮らしができるようにチームで検討し支援していく。	12ヶ月
2	33	・職員で看取りの経験者がまだ少なく、また外部研修等の経験者も少ないため、重度化や終末期に向けた体制、知識が不足している。 ・コロナ禍でご入居者のADL、IADLの低下が見られ、日常生活において重度化しない為の工夫が必要である。	・看取り指針、マニュアルの整備する。 ・看取りの研修を実施する。 ・重度化しない為の検討を意識し、定期的に検討をする。	・看取り経験を活かし、指針やマニュアルを見直す。 ・看護師配置による体制や対応の整備確認を行う。 ・重度化する前にご本人、ご家族のご意向やその他情報収集を行う。 ・研修委員会による看取り等の研修企画をする。 ・職員間で重度化しないための視点を共通認識できるようにケア会議等で検討、実施に繋げる。	12ヶ月
3	2	まだまだ地域との関わりが少なかった上に、コロナ禍で地域や他の事業所との関わりが難しくなっている。	区社協と連携し、地域住民に施設の事を知ってもらうための検討内容を実施する。 地域や近隣での役割や関心を持つ取り組みを行う。	・広報誌を定期的に発行し、配布を継続する。 ・区社協と連携し、コロナ禍で出来る事を検討する。 ・地域近隣の方に興味を持ってもらえるようにご入居者と一緒に施設周辺の掃除を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。